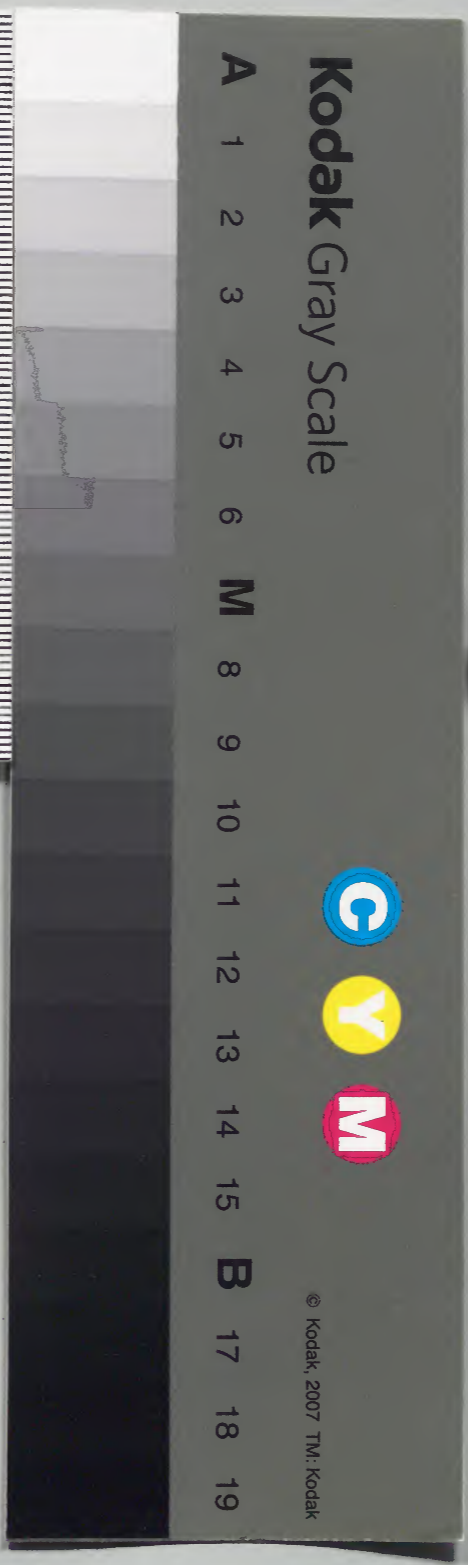


16

宣戰詔書

天祐ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ  
踐メル大日本國皇帝ハ忠實勇武  
ナル汝有衆ニ示ス  
朕茲ニ露國ニ對シテ戰ヲ宣ス朕  
力陸海軍ハ宜ク全力ヲ極メテ露  
國ト交戦ノ事ニ從フヘク朕カ百  
僚有司ハ宜ク各其ノ職務ニ率ヒ  
其ノ權能ニ應シテ國家ノ目的ヲ  
達スルニ努力スヘシ凡ソ國際條  
規ノ範圍ニ於テ一切ノ手段ヲ盡



シ遺算ナカラムコトヲ期セヨ  
惟フニ文明ヲ平和ニ求メ列國  
ト友誼ヲ篤クシテ以テ東洋ノ  
治安ヲ永遠ニ維持シ各國ノ權  
利利益ヲ損傷セスシテ永ク帝  
國ノ安全ヲ將來ニ保障スヘキ  
事態ヲ確立スルハ朕夙ニ以テ  
國交ノ要義ト爲シ旦暮敢テ違  
ハサラムコトヲ期ス朕力有司  
モ亦能ク朕力意ヲ體シテ事ニ

從ヒ列國トノ關係年ヲ逐フテ  
益親厚ニ赴クヲ見ル今不幸ニ  
シテ露國ト釁端ヲ開クニ至ル  
豈朕力志ナラムヤ  
帝國ノ重ヲ韓國ノ保全ニ置ク  
ヤ一日ノ故ニ非ス是レ兩國累  
世ノ關係ニ因ルノミナラズ韓  
國ノ存亡ハ實ニ帝國安危ノ繫  
ル所タレハナリ然ルニ露國ハ  
其ノ清國トノ明約及列國ニ對

スル累次ノ宣言ニ拘ハラス依  
然滿洲ニ台據シ益々其ノ地歩ヲ  
鞏固ニシテ終ニ之ヲ併吞セム  
トス若シ滿洲ニシテ露國ノ領  
有ニ歸セン乎韓國ノ保全ハ支  
持スルニ由ナク極東ノ平和亦  
素ヨリ望ムヘカラス故ニ朕ハ  
此ノ機ニ際シ切ニ妥協ニ由テ  
時局ヲ解決シ以テ平和ヲ恒久  
ニ維持セムコトヲ期シ有司ヲ

シテ露國  
キニ亘リ  
メタルモ露國ハ  
ヲ以テ之ヲ迎  
ニ時局ノ解決  
ニ平和ヲ唱道  
備ヲ増大シ以テ我ヲ屈從セシメ  
ムトス凡ソ露國カ始ヨリ平和  
ヲ好愛スルノ誠意ナルモ毫モ  
認ムルニ由ナシ露國ハ既ニ帝



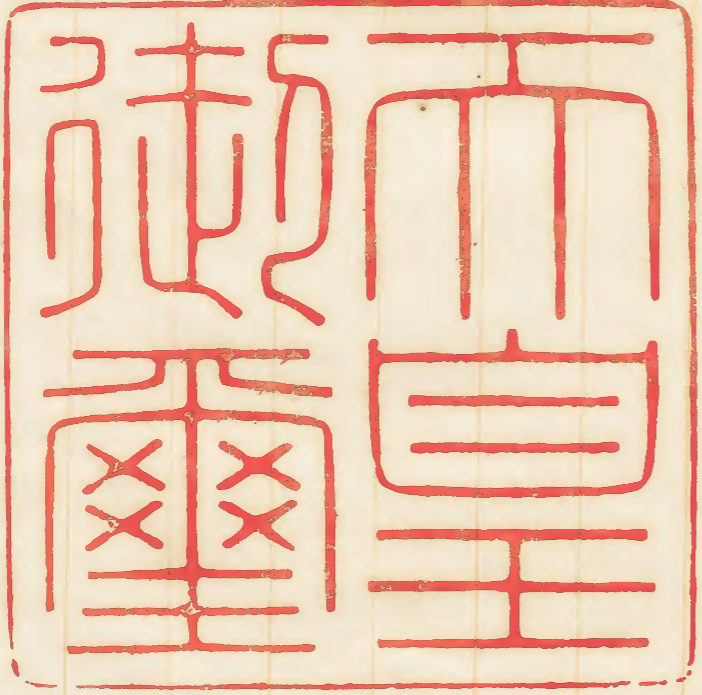
スル累次ノ宣言ニ拘ハラス依  
然滿洲ニ台據シ益々其ノ地歩ヲ  
鞏固ニシテ終ニ之ヲ併吞セム  
トス若シ滿洲ニシテ露國ノ領  
有ニ歸センハ韓國ノ保全ハ支  
持スルニ由ク極東ノ平和亦  
素ヨリ望ムカラス故ニ朕ハ  
此ノ機ニ際切ニ妥協ニ由テ  
時局ヲ解テ平和ヲ恒久  
ニ維持セ



シテ露國ニ提議シ半歳ノ久シ  
キニ亘リテ屢次折衝ヲ重子シ  
メタルモ露國ハ一モ交譲ノ精神  
ヲ以テ之ヲ迎ヘス曠日彌久徒  
ニ時局ノ解決ヲ遷延セシメ陽  
ニ平和ヲ唱道シ陰ニ海陸ノ軍  
備ヲ増大シ以テ我ヲ屈從セシメ  
ムトス凡ソ露國力始ヨリ平和  
ヲ好愛スルノ誠意ナルモ毫モ  
認ムルニ由ナシ露國ハ既ニ帝

國ノ提議ヲ容レズ韓國ノ安全  
 ハ方ニ危急ニ瀕シ帝國ノ利益  
 ハ將ニ侵迫セラレムトス事既ニ  
 茲ニ至ル帝國カ平和ノ交渉ニ  
 依リ求メムトシタル將來ノ保障  
 ハ今日之ヲ旗鼓ノ間ニ求ムル  
 ノ外ナシ朕ハ汝有衆ノ忠實勇  
 武ナルニ倚頼シ速ニ平和ヲ永  
 遠ニ克復シ以テ帝國ノ光榮ヲ  
 保全セムコトヲ期ス

睦仁



明治三十七年二月十日

内閣總理大臣兼 大臣伯爵	海軍大臣男爵	農商務大臣男爵	大藏大臣男爵	外務大臣男爵	陸軍大臣	司法大臣	逋信大臣	文部大臣
桂	山本	清浦	曾	小村	寺内	波多野	大浦	久保田
太郎	權兵衛	奎五郎	補流助	壽太郎	毅	教直	兼武	謙